

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年11月14日(月)～11月20日(日)〔平成23年第46週〕の感染症発生状況

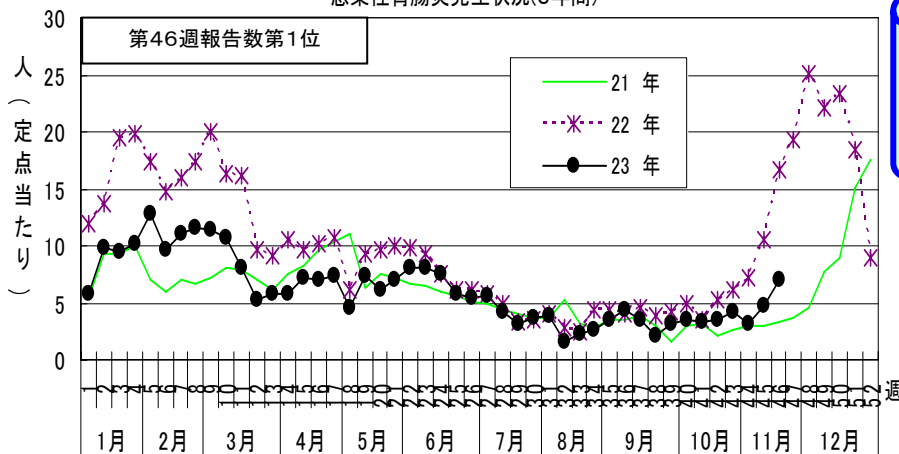
第46週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり7.00人と前週(4.79)より患者報告数は増加しており、今後患者報告数が大幅に増加することが推測されますので、今後の発生動向に注意が必要です。

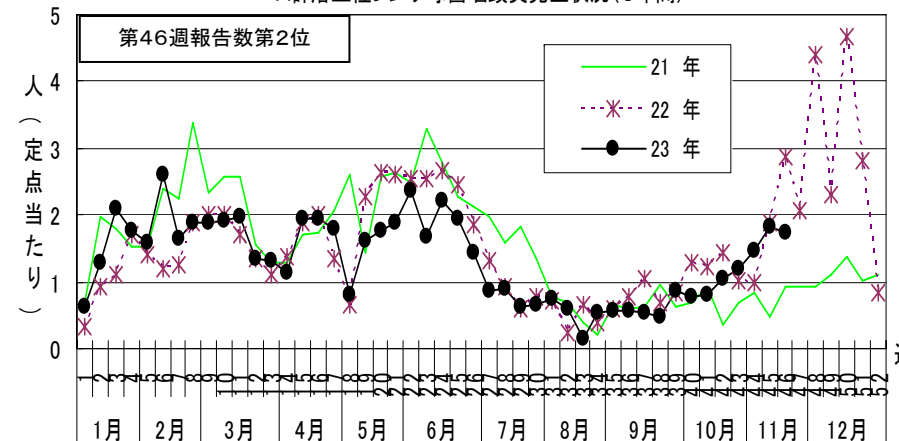
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.73人と前週(1.82)より患者報告数はやや減少しており、例年と比較して低いレベルでの推移となっています。

また、報告数自体は少ない(本市では2つの医療機関が報告対象)ですが、例年に比べてマイコプラズマ肺炎の報告が大幅に増加していますので、今後注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



攻略のポイントは手洗い・加熱・消毒！

目に見えない敵“ノロウイルス”を攻略しよう！！

川崎市内で感染性胃腸炎(この時期はノロウイルスによるものが中心)の患者報告数が増えていますので、次の攻略法を身につけましょう！！

## STEP1 手洗い

石けん自体には、手指についたウイルスを殺す力はありませんが、手指からウイルスをはがしやすくする効果があります。ノロウイルスに限らず、手洗いは感染症予防全般の基本です。  
※常に爪は短く切り、手洗い前には時計や指輪ははずしましょう。

## STEP2 加熱



食品等の加熱の場合は「中心部」までこの温度で加熱する必要があります。

ノロウイルスを殺すには85℃で1分以上加熱する必要があります。

## STEP3 便やおう吐物の消毒

感染者の便やおう吐物にはノロウイルスが含まれており、それが乾燥するとウイルスが舞い上がります。これが口に入ると感染してしまう可能性がありますので、便やおう吐物はすぐに処理しましょう。

### ☆処理方法☆

- ①便やおう吐物を静かにペーパータオルでふき取る。
- ②0.02%の次亜塩素酸ナトリウム(家庭用漂白剤)で浸すよう消毒する。
- ③10分ほど置いた後に、水拭きする。

※アルコール製剤には、ノロウイルスに対する消毒効果はありません。

処理するときの服装チェック！  
使い捨てマスク、エプロン、手袋は必須！メガネやゴーグルを着用するとより安心です。

拭き取ったものは、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを入れたビニール袋に密閉し、廃棄します。